

アジアサテライトキャンパス学院第一期卒業生の Tsogt Tsend 氏がモンゴル最高裁判所判事に任命されました

モンゴル大統領は、2020年12月15日、アジアサテライトキャンパス学院が実施するアジア諸国の国家中枢人材養成プログラムの第一期卒業生である Tsogt Tsend (ツォクトゥェンド) 氏をモンゴル最高裁判所の判事に任命しました。

Tsogt Tsend 氏は2014年に大学院法学研究科博士後期課程に入学し、市橋克哉教授の指導を受け、2017年に法学研究科から学位を授与されました。Tsogt Tsend 氏はモンゴルで新設された行政裁判所で2004年に裁判官に任命され、16年間モンゴル行政裁判所に勤務し、2002年からはモンゴル国立大学で教鞭をとっています。モンゴル行政裁判所では所長を務め、モンゴル行政訴訟と司法審査の発展における先駆者の一人です。モンゴル司法総評議会議員(2004年-2006年)、モンゴル裁判官協会役員(2009年-2017年)、裁判官委員会委員長(2013年-2016年)、モンゴル弁護士協会行政法委員会委員長(2017年-2019年)等、多くの専門的な活動に積極的に関わってきました。無料でアクセス可能なモンゴル行政司法判決データベースを初めて立ち上げ、最終的にはモンゴルの全ての司法判決のオープンアクセスデータベースの確立に繋がりました。モンゴルで最初のオンライン調査データベースを確立し、行政法の様々な問題に関する本や記事を幅広く出版しています。



<指導教員 市橋克哉 先生(名古屋大学名誉教授・名古屋経済大学特任教授)からのメッセージ>

Tsogt Tsend さんがモンゴル最高裁判所に任命されたという朗報に接し、わたしはたいへんうれしく思います。なぜなら、かれのアジアサテライトキャンパス学院在学中、わたしは、指導教員として論文の指導にあたり、苦勞をかれと共にしたからです。当時、かれが、ウランバートル市控訴行政裁判所判事という激務に従事しながら、苦勞して研究時間をみつけ

論文執筆に取り組んだことを、わたしは昨日のことのよう思い出します。2017年に博士号を取得して帰国した後、行政裁判所の判事として、そして、モンゴル国立大学の教員として、かれはモンゴル行政法の発展に大いに貢献していました。そして、今回の最高裁判所判事への就任です。この仕事は、かれにとって、モンゴル行政法の理論と実務を統一的に発展させる絶好の機会になるにちがいないと、わたしの期待は、さらに膨らんでいます。

関連 HP アジアサテライトキャンパス学院

<http://asci.nagoya-u.ac.jp/japan/>